



【旧亙理邸】 所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字内町12番地  
問い合わせ：登米市歴史博物館 ☎ 0220 (21) 5411

## 佐沼城『鹿ヶ城』 (迫)

佐沼城は、平安末期の文治年間、平泉の藤原秀衡の家臣、照井太郎高直によつて築かれたと伝えられており、築城の際、鎮護のために鹿を生き埋めにしたことから、別名「鹿ヶ城」とも呼ばれています。照井氏の後は、葛西氏、大崎氏、津田氏、亙理氏へと城主が変わり、明治4年（1871）の廃藩置県で廃されるまで、680年の歴史があります。

現在の公園は、昭和初期に畑となっていた城跡を、戦後町民の奉仕で桜の木、花見の会場として多くの人でにぎわいを見せています。また、公園内には登米市歴史博物館があり、「武家文化と民衆のくらし」をテーマとした常設展示のほか、特別展や企画展、講座、体験学習なども行われています。

佐沼亙理家九代目当主隆胤が佐沼城から移り住み、「古鹿山房」と称して広く文筆活動を行った旧亙理邸や、昔の農具などを展示した民具資料館も併設されているなど、見どころが満載です。ぜひ足を運んでみてください。

歴史博物館

## 広報ミニ展示室 13

＝恩田とき子人形展の楽しみ方＝



恩田さんの作品は、6月3日まで展示されています

博物館に展示されている、恩田とき子さん（人形作家：迫町出身）の創作人形は、「ふる里への思い」と「女性の情念」を表現し、見る人にさまざまなメッセージを伝えています。写真の作品は、江戸時代のおなつ・清十郎の悲恋が題材となっており、愛する清十郎が処刑され、恋しさのあまり狂乱し、さまよう「おなつ」の姿を表現しています。恩田さんの作品集『野すみれ』では、そのおなつと戦争で大事な人を失った女性たちを重ね合わせて作ったことが分かります。女性が苦難に耐えて懸命に生きた姿と、懐かしい時代を思い起こし、人形からのメッセージを感じ取りながら鑑賞してみませんか。

## チャチャワールドいしこし

### ゴールデンウィークイベント情報



▲親子で一緒に遊べるファンシーサイクル  
▲園内の池ではボートも楽しめます

大人（高校生以上） 320円  
小人（小・中学生） 110円  
※団体8人以上は割引料金になります  
（大人290円・小人100円）  
※毎月第2土曜日は「登米市民デー」  
で入園無料となっています

#### 【ゴールデンウィークイベント】

- ☑ 5/3（祝） ふたりはプリキュアスプラッシュスターショー
  - ☑ 5/4（祝） 獣拳戦隊ゲキレンジャーショー
  - ☑ 5/5（祝） 仮面ライダー電王ショー
- ※ショーの上演時間は午前11時から午後2時からの予定です（2回）  
※ご覧になる人は敷物（レジャーシートなど）の用意をお勧めします

【営業時間】 〔4月～9月〕 午前9時30分～午後5時  
〔10月～3月〕 午前9時30分～午後4時

#### 【休園日】 毎週火曜日

※火曜日が祝日の場合は翌平日が休園日となります  
※冬期休園期間 12月24日から3月第1日曜日前日まで

【問い合わせ】 チャチャワールドいしこし ☎ 0228(34)2221